



を手放すんだ
イリス

聖騎天翔
フルアイリス



さあ
武器を手放すんだ
ブルーアイリス



くっ、人質を取るなんて
卑怯なことを……!



フォン...



さあ、どうした人質がどうなってもいいのか？

くっ...

今は仕方ない、か...



さあ、部下共よ
奴を捕えるんだ

ザ
ザツ

ザ



離して...!

くっ

ガシツ

ゲノムテックノロジーの氾濫により超常能力を持つ新たな生命が誕生

俗に「怪人」と呼ばれた彼らは世界を掌握するべく秘密結社『NEMESIS』を興し、悪逆の限りを尽くしていた

ゲノムテックは禁忌となったが、彼らの脅威に対抗するべく超常能力を人為的にコントロールする研究が各国で行われた

少女、ハツキ・セオは研究の集大成とも言えるナノマシンシステムの数少ない適合者の1人だった

そして現在

ハツキはバトルフォーム「ブルーアイリス」として巨悪から人々を護るべく戦いに身を投じていくのだった

NEMESIS中央第三支部



ふふふ、特別な会場を
用意させてもらったぜ

んんん……?



お前のフぁんだっっていう
観客も招待したから
賑やかだろう？

ガヤ
ガヤ



すごい
本物のブルーアイリスだ

何？
この淀んだ雰囲気…

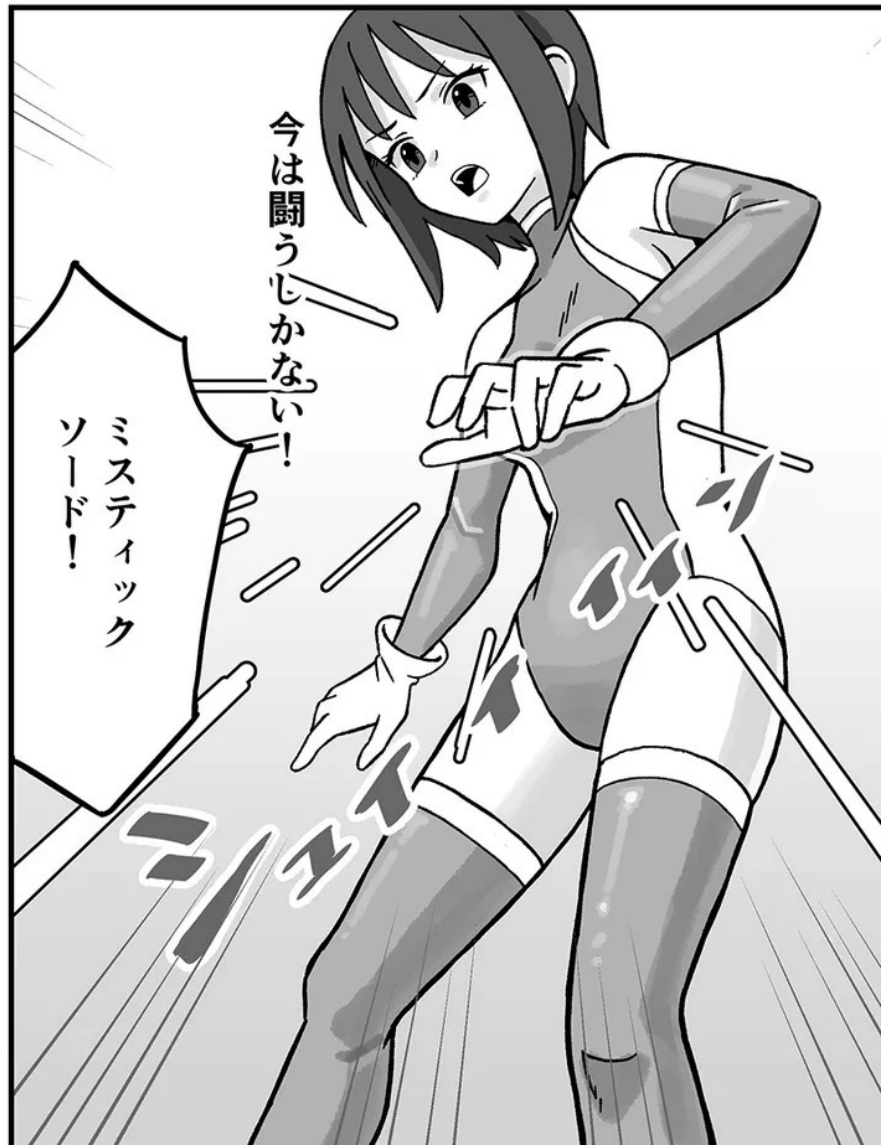
生で見るといっそう
カワイイねえ



イーン…



えっ!?



今は闘うしかない!

ミステイック
ソード!



くくく
気づいたようだな

ニヤッ



能力が

使えない……？



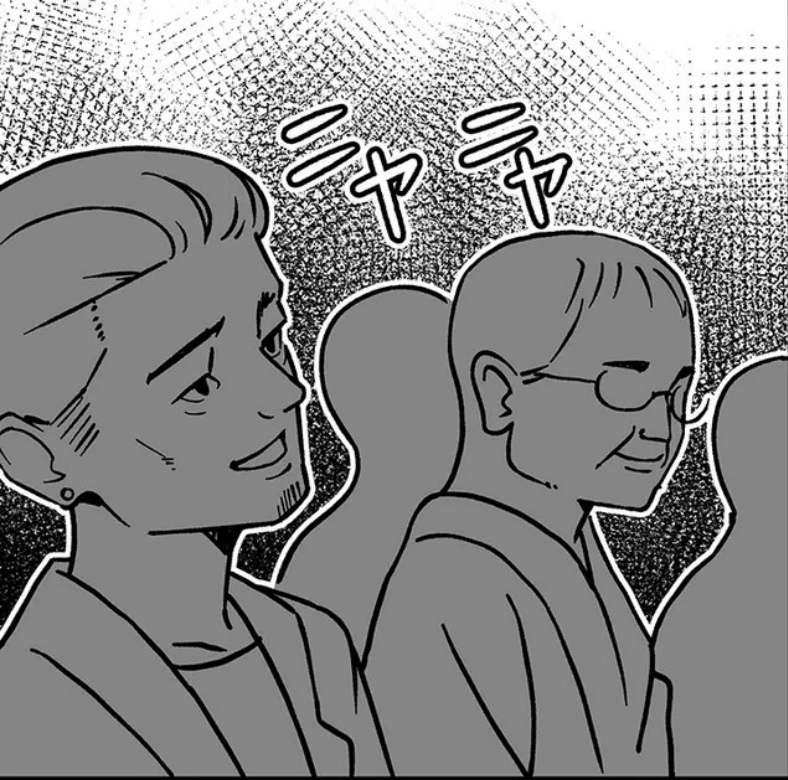
さあお喋りはここまでだ
そろそろいくぜえ！



お前達人間のテクノロジーは
脆弱性があるのさ

会場中に設置した
ジャミング装置によって
ナノテクを無効化させてもらったぞ







その後も怪人による
猛攻撃は、休む事なく
続けられた



オイオイオイ
早く立てよ

お前には返さなくちゃ
ならねえ仲間の借りが
まだまだあるんだからよオ



ブルーアイリスが苦痛に顔を歪ませるたび観客は歓喜の声をあげた

あぐっ

ゴッ



四方を取り囲む下卑た視線は耐え難く、精神的にも追い込まれていた



うあッ

あぐッ

ドカッ

バキ

うッ!

ぐはあッ!

ドカッ



う……あ……

素手じゃ勝ち目が……
どうすれば……

ガッ

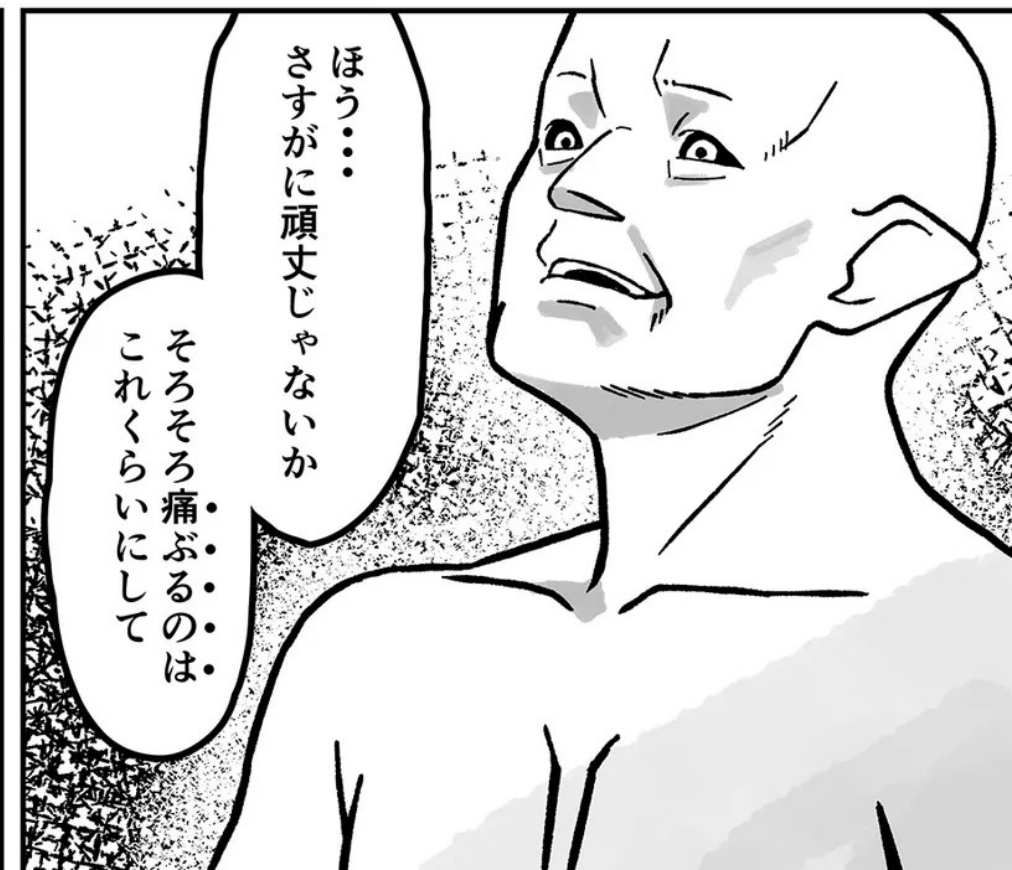
ガッ

ハッ

ハッ



少し趣向を
変えてみるか



ほう……
さすがに頑丈じゃないか

そろそろ痛ぶるのは
これくらいにして

Chapter 2

聖騎天翔
ブルーアイズ



ここからは粗暴な
弟に代わって



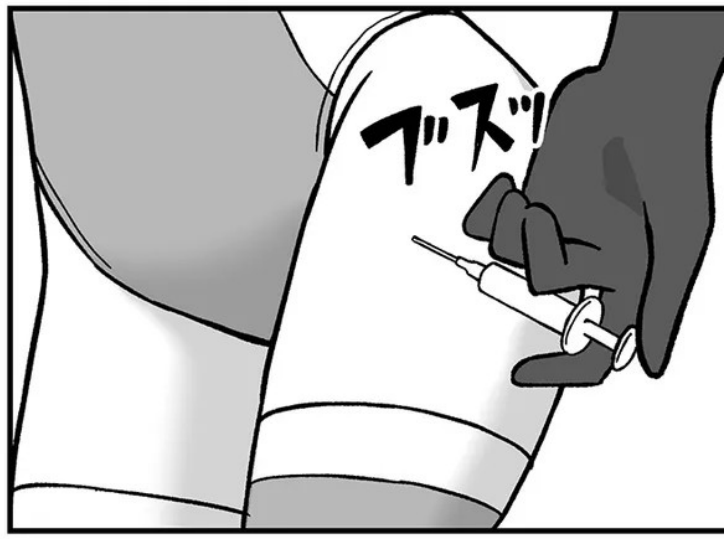
くっくっ...
更にもう一人...



私が相手をして
あげるわ



と、その前に...





離してッ!

バキッ



はっ

あ...

何...これ...身体が...!

あああああ...

ビクッ



くっ...一体何を...?



ド

クン



我々が開発した
特製の媚薬よ

アナタ、タフそうだし
通常の3倍の量を
盛らせてもらったわ

気に入ってくれたかしら？♡

ハアッ!

クスッ



あらあら、戦うどころ
じゃなさそうね
正義のヒロインちゃん

あっ
今はッ!

ハアッ!

ハアッ!

ビクッ



なんなのコレ……?!

立ってるだけで全身が
快感ではじけそう……!!

ハアッ!

ハアッ!

ビクッ



いやあ……駄目駄目駄目エ……ッ！
胸が！おかしいくらい感じすぎる……！

あまアアッ！！



ギョウウウ



うんっ...胸が!

ビッ

ビッ

そろそろ観客にも
サービスして
あげなくちゃ、ね

ブルッ

アイ
アヤ
アア



あっ♡♡

さわっ♡♡

さわっ♡♡

クス
クス

ふふふ、秘められた
ブルーアイリスの乳首解禁で
会場大盛り上がりね

オォー!!



ほらほら、下のほうも♡
今カラダをほぐしておかなきゃ
後がツライわよ

そこは……！
駄目っ！

ハッハッ

「
ツツ
」

「
あッ
」

「
ニッ
」

だってこの後

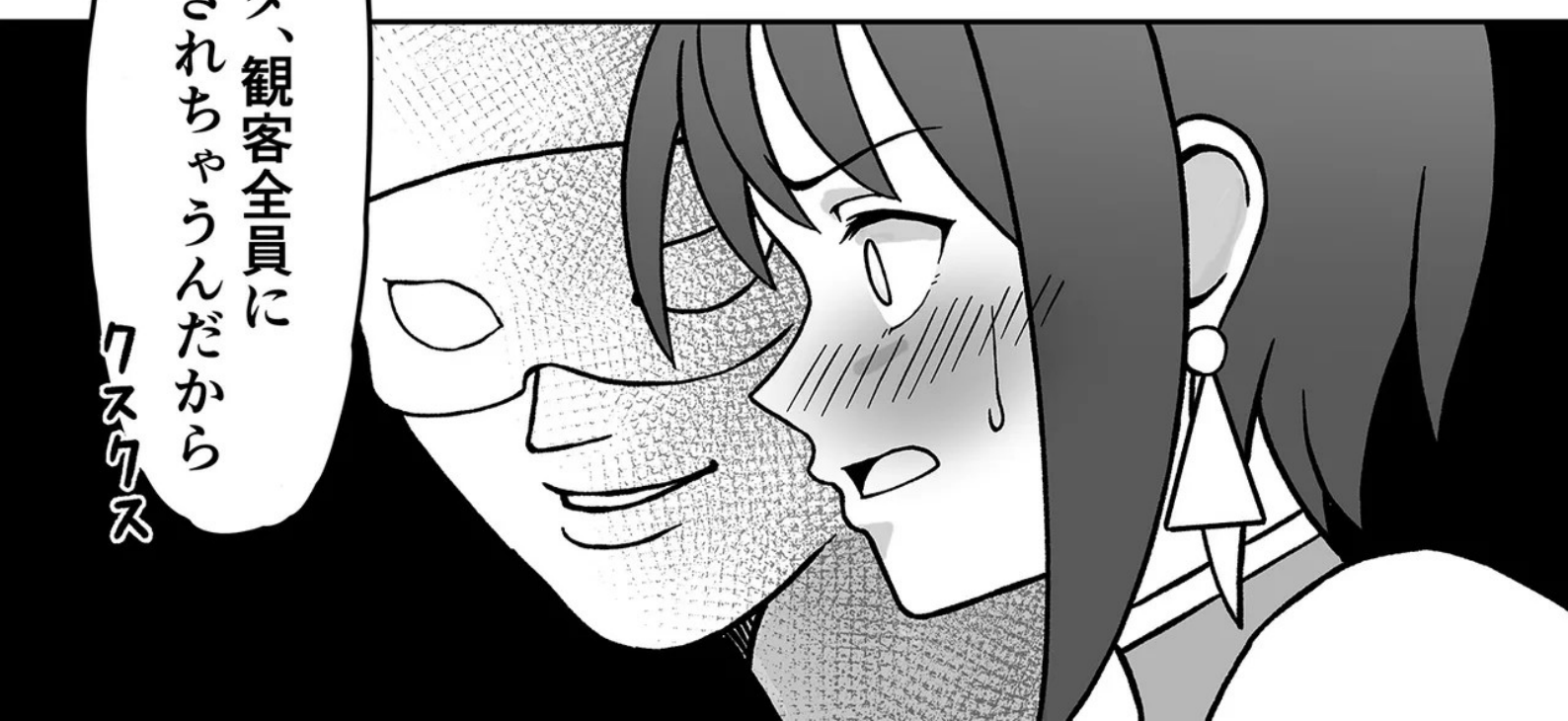
「
んッ
」

「
ニッ
」

「
しょ…
」

アナタ、観客全員に
マワされちゃうんだから

クスクス



えッ？
そんな...

フフフ、
あなたカワイイから
そっちのファンを
増やしすぎちゃった
みたいね♡

ハアッ

ハアッ



どうしてみんな私を...
私は、みんなを護るために戦って...

早く犯し

ダメッ
快感で思考が流されて...

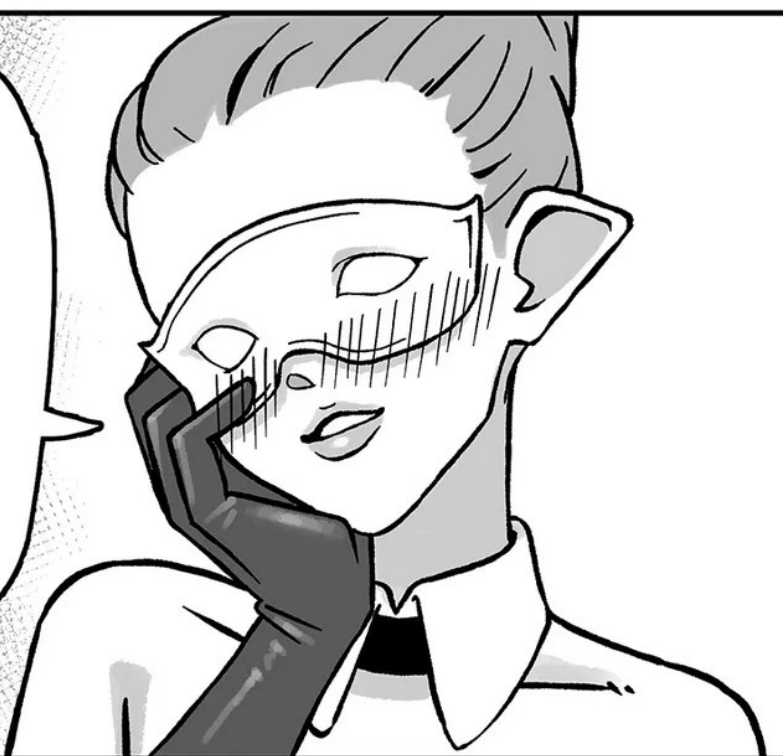
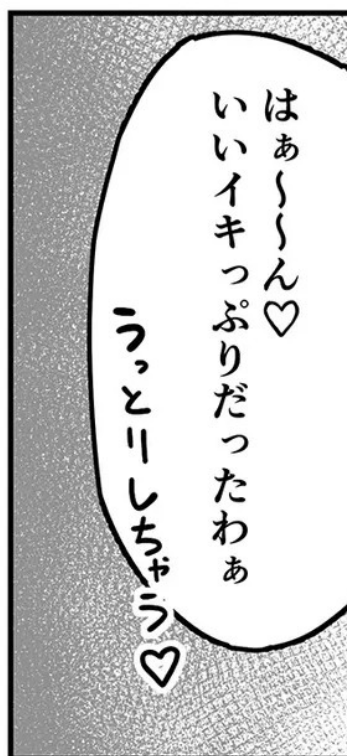
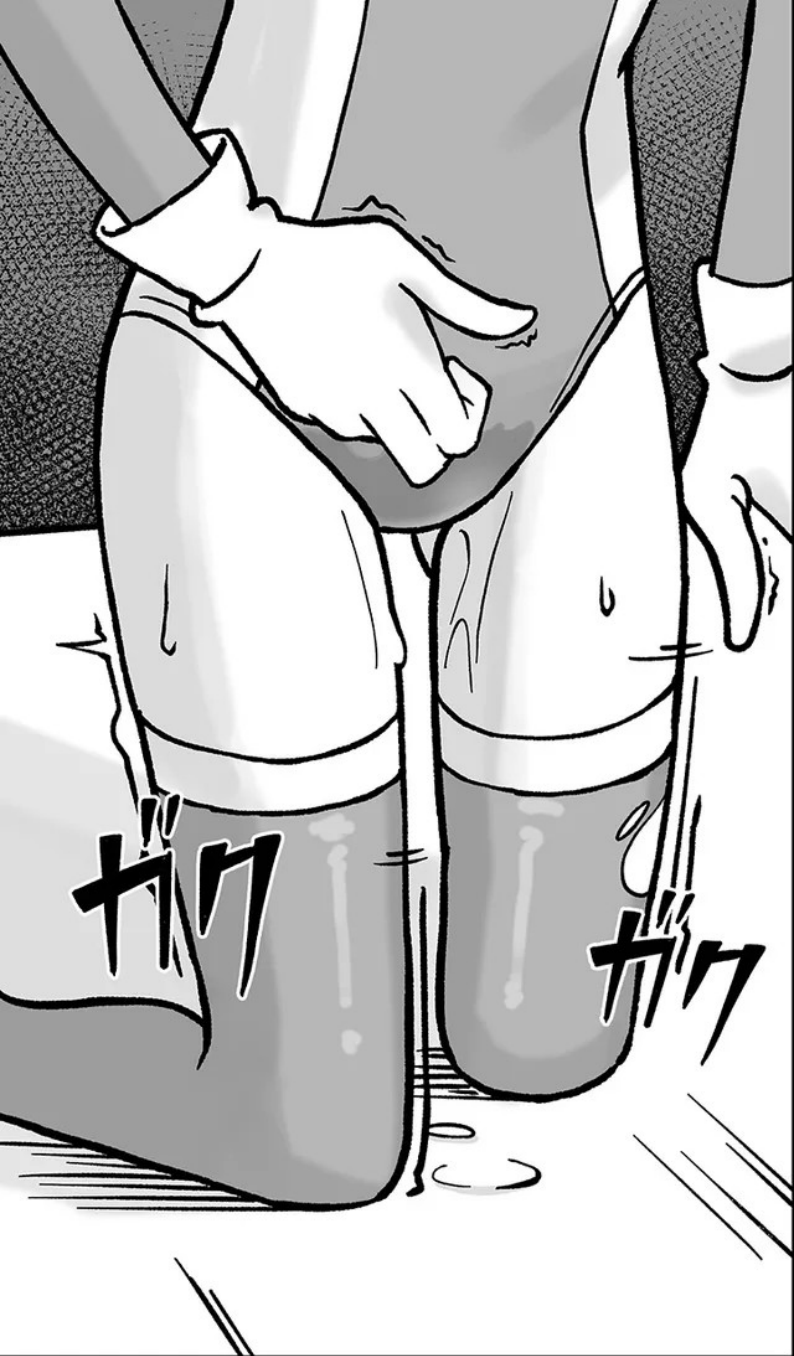
あッ♡
あッ♡
あッ♡

もう
ダメッ！



あ
あ
あ
あ

ビュッ



このたびはお買い上げいただき誠にありがとうございます。

この本は変身ヒロインがほどよくかわいそうな目に合う漫画が読みたい！

とふと思いつき、自分で作ることにしました。

『聖騎天翔ブルーアイリス』は今作を第1作として、

いくつかのシリーズにしたいと思っています。

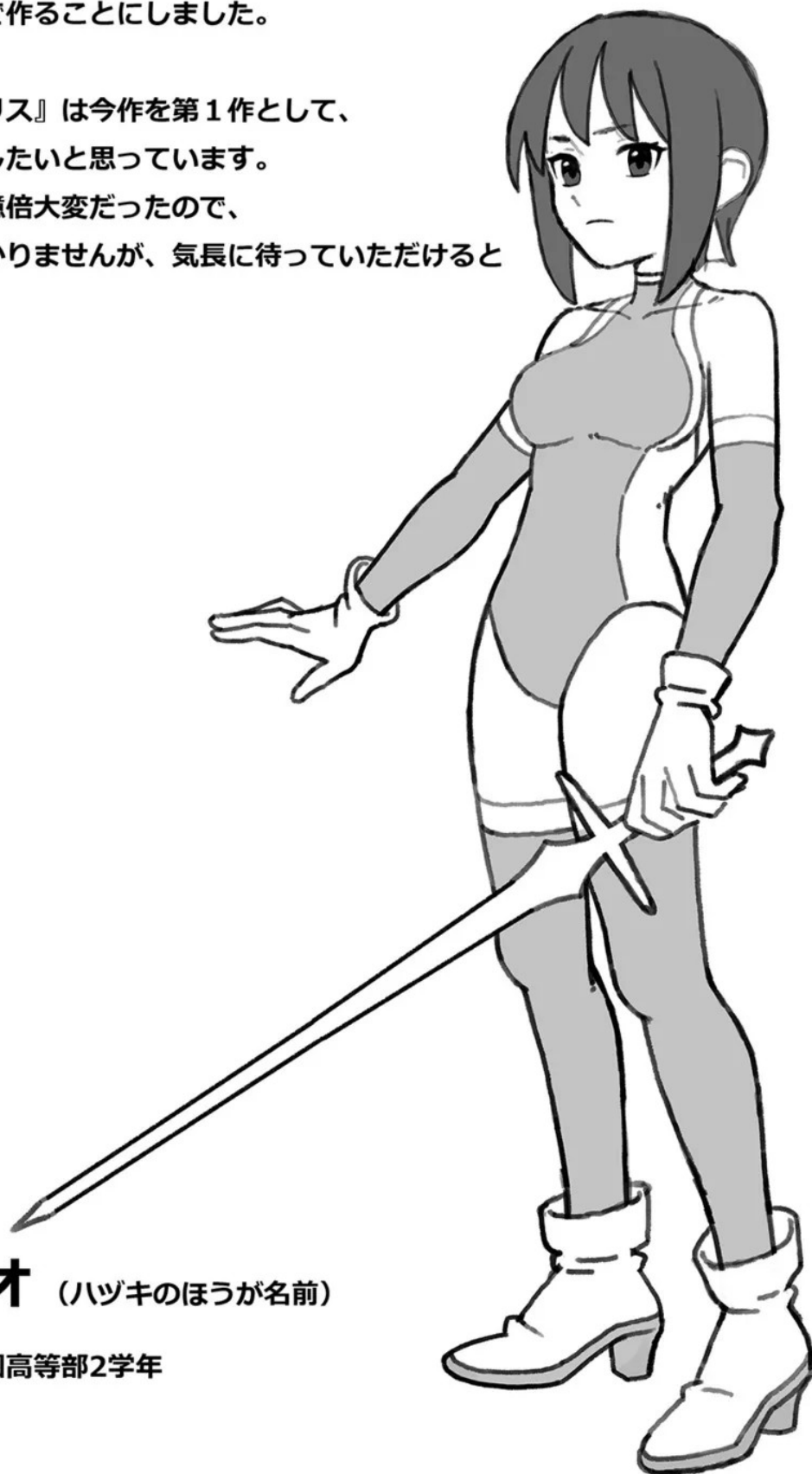
漫画描くのが想像の8億倍大変だったので、

続編がいつになるかわかりませんが、気長に待っていただけると

幸いです。

かくなる上田

@kakunaru_ueda



ハツキ・セオ (ハツキのほう为名前)

新東京市アルファ区学園高等部2学年

162cm/42kg

対怪人用強化ナノマシンの力により、バトルフォーム

《ブルーアイリス》に変身して戦う。

退魔のエーテルを結晶化し、武器を作り出すことができる。

聖騎天翔 ブルーアイリス

聖騎天翔ブルーアイリス

発行者/発行サークル：かくなる上田

発行日：2024/12/03

本作品はフィクションです。

実在の人物・団体・出来事・場所などに
一切関係ありません。



本作品のすべての権利は作者(かくなる上田)に帰属します。
無断で本作品を複製、配布、改変することを固く禁止します。
また上記行為は著作権法違反となりますので、発覚した場合
法的措置を取らせていただくことがあります。

All rights to this work are reserved by the author.
Unauthorized copying, distribution,
or modification of this work is a violation of copyright law.
If any illegal act is discovered, legal action may be taken.

本作品的所有权利归作者所有。
未经授权，不得复制、分发、修改本作品，否则构成侵犯著作权。
如发现任何非法行为，将采取法律措施。

